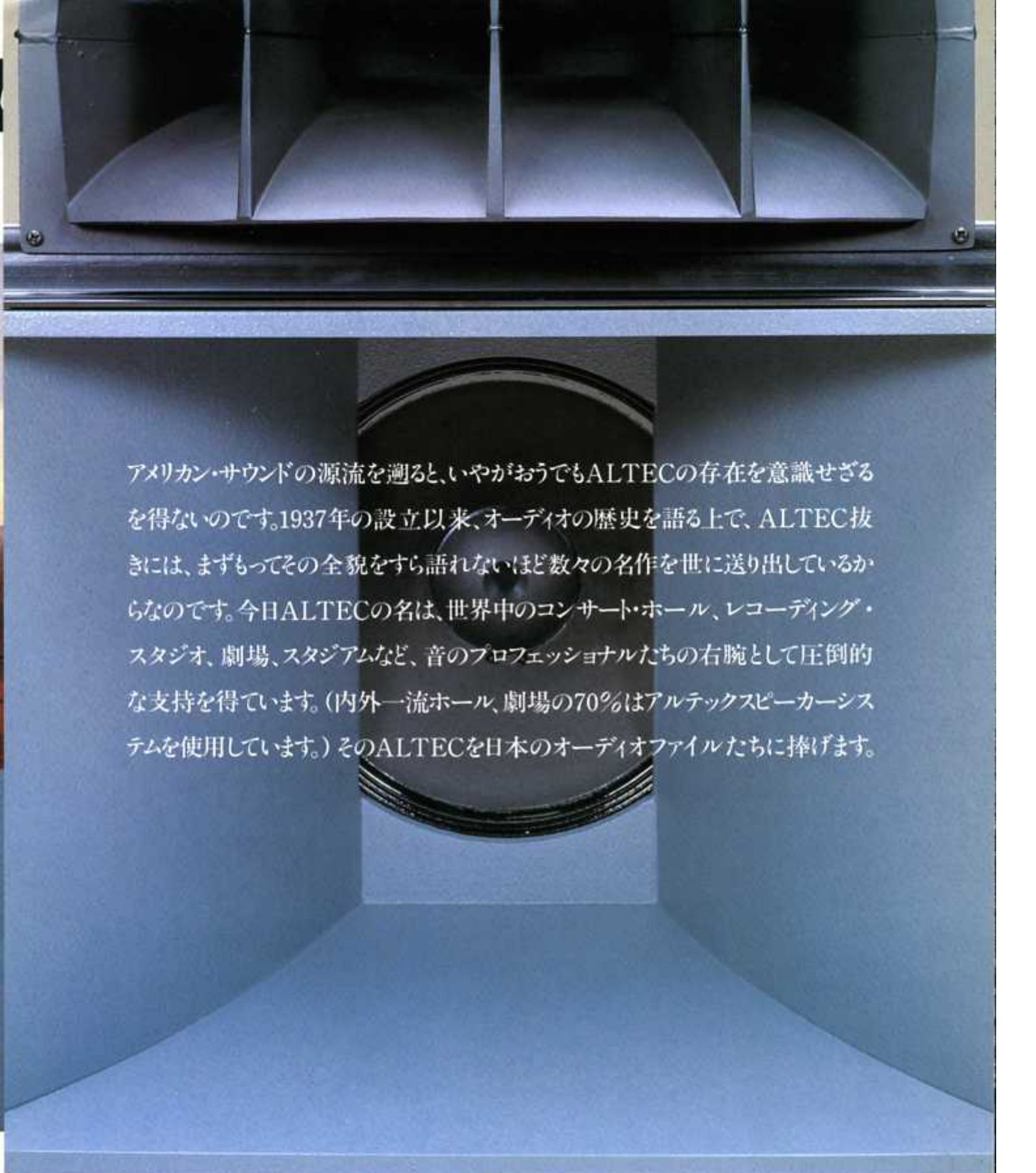


ALTEC LANSING®

プロフェッショナルなオーディオ・エクイップメントの世界の歴史を振り返ると、そこにはALTECという一筋の主張があることに気づきます。時代はいかに変わろうとも、ALTECサウンドは今もってその主張をつらぬいています。



アメリカン・サウンドの源流を遡ると、いやがおうでもALTECの存在を意識せざるを得ないのです。1937年の設立以来、オーディオの歴史を語る上で、ALTEC抜きには、まずもってその全貌をすら語れないほど数々の名作を世に送り出しているからなのです。今日ALTECの名は、世界中のコンサート・ホール、レコーディング・スタジオ、劇場、スタジアムなど、音のプロフェッショナルたちの右腕として圧倒的な支持を得ています。(内外一流ホール、劇場の70%はアルテックスピーカーシステムを使用しています。) そのALTECを日本のオーディオファイルたちに捧げます。

ALTEC®

The Voice of the Theatre

The S

ALTECの設立をさらに遡ると、世界で初めてトーキー映画の製作を実現したウエスタン・エレクトリック社に相目見えます。そこをALTECの原点とするなら、すでに半世紀になんなんとする歳月が経過しています。そうしたALTECの伝統を今日なお脈々と伝え音の本質を見極めていのがこのWESTERN系スピーカーシステムです。そのサイズからもおわかりのように大規模な音響空間にふさわしいサウンドは、朗々としてたおやかです。

まさに威風堂々。朗々としてたおやかなるサウンド。
ALTECの伝統を今に伝えるWESTERN系。



A7-500-8E



850A ラグーナ

○WESTERN系 A7-500-8E, A5-M

ヴォイス・オブ・ザ・シアターシリーズの中でも、このA7、A5システム程親しまれているシステムはありません。A7はクロスオーバー一周数波が、A7オリジナルと同じ500Hz及び800Hzになり、A7-500-8Eとシステム名を変更。A5はホーンにマンタレイを採用、A5-Mとシステム名が変更になりました。

A7-500-8E: ¥491,000 A5-M: ¥821,000

MODEL 9861

オーディオファイル垂涎の的だったA7-Xが、時代の洗練を受けて、この9861に結実。ホームユースという設計ポリシーによりエンクロージャーにウォールナットを採用。システム構成は3ウェイ。ツイーターには新開発のMR902を採用するとともに指向特性にすぐれたALTEC独自のマンタレイホーンを組み合わせました。

¥690,000

850A ラグーナ

新型A7-500-8Eと同様のユニット構成をとり、インテリアに溶けこむコーナー型のトラディショナルなデザイン。往年の名器ラグーナを、外観はそのままにアルテック最新ユニットを用い、あの流麗なアルテックサウンドを甦らせました。

¥748,000

